



(公財) 福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

平成30年度福岡県移住者子弟留学生8名が福岡での新生活をスタート!

福岡県移住者子弟留学生8名は、1年間の留学生生活をスタートさせました。まだ慣れないことも多い留学生活ですが、学校生活を楽しんでいます。

また、5月17日には、江口副知事を表敬訪問しました。副知事より、「8名で切磋琢磨しながら、大きく成長されることを期待しています。そして、皆さんが将来、福岡県とそれぞれの地域を結ぶ交流の懸け橋として、大いに活躍されることを願います。」と激励の言葉をいただきました。



【江口副知事と記念撮影】

日本・福岡での生活



福岡は、とてもきれいでゴミも落ちていなくて、とても住みやすい町だと思います。福岡での生活で困ったことは、ポリビアには電車がなかったの、初めて電車に乗るときに、切符の買い方や乗り方がわからなくて困りました。
ポリビア：緒方 中村 デニセ ミナ



福岡では、レストランやお店など、人が多くて混雑している時でも、皆がきちんと順番を守って並んでいることに驚きました。お店のスタッフも、何かわからないことがあれば分かるまで優しく、丁寧に教えてくれて安心します。
メキシコ：田中 ゴーメス ヨシロ アルフレード

学校生活



九州大学での勉強は難しいけれど毎回の授業で何か新しい事が習得できるので楽しいです。授業中に使われる専門用語がわからない事があります。まだ少しですが日本の方ともお友達になれています。
パラグアイ：北川 徹也

日本語は難しいですが、一番難しいことは会話です。敬語がまだ分かりません。大学では日本人の友達ができました。みんな優しくしてくれます。お昼ご飯と一緒に食べます。
アルゼンチン：船越 カティア 亜矢子



最初の2週間はわたしには、日本語を流暢に話せず、大学の授業がとても難しかったです。日本語はまだ難しいですが、大学生活はとても楽しいです。日本人の礼儀正しさや困った人を助けようとする精神に感動します。
ペルー：たくま 新川 ジェシカ

1年間の目標



自慢出来るゲームを作ることが目標です。日本語をもっと勉強して上達できるようになりたいし、日本人の友達もたくさんつくりたいです。
ブラジル：新垣 要吉 ファービオ

この一年間では、日本のアニメーションをよりよく知り、いい研究課題を作り、福岡をよりよく知り、できるだけ人の助けになりたいと思います。
ブラジル：中村 幸恵 サリー



私は日本の栄養、料理文化、人々の生活への応用について、多くのことを学びたいです。また、日本語の読み書きなど、もっと上達できるように日本語の勉強も頑張りたいです。
ブラジル：恒富 ジアナ 美樹



人事異動のお知らせ

当センターの事務局長が **渡辺 文** (わたなべ あや、異動先：福岡県総合政策課) から、**家守 由紀子** (かもり ゆきこ、異動元：福岡県文化振興課) に変わりました。

海外福岡県人会の会長が変わりました

アルゼンチン	： 杉野 清 (すぎの きよし)	レスブリッジ/カナダ	： タケヤス トレント
ポリビア	： 米倉 俊江 (よねくら としえ)	ペルー	： シギョウ セルヒオ
コロンビア	： 倉富 デイエゴ (くらとみ でのえご)	サンフランシスコ/アメリカ	： バジフダー (花野) 真紀子 (はなの まきこ)
ハワイ/アメリカ	： サクダ キース	トマス/ブラジル	： 稲田 洋明 (いなだ ひろあき)